

7 道徳教育部会		部会テーマ		道徳教育の充実に向けて	
内 容	道徳教育は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、学校の教育活動全体を通じて行うことが重要である。特別活動における道徳性を育む取組の発表、道徳教育の要である道徳科の授業実践の発表を通して、これからの道徳教育の在り方について考える。				
指導助言者	宇都宮大学大学院	和井内良樹	企画・会場係	総合教育センター	佐藤裕美子
記 録 係	総合教育センター	渡辺 浩行	受 付 係	総合教育センター	高橋 徹
機 器 係	総合教育センター	大山 晃	機 器 係	総合教育センター	谷仲 俊彦

発表

体験活動が道徳性に及ぼす効果

～冒険活動教室の実践から～

宇都宮市冒険活動センター 長谷部大樹

学習指導要領改訂に伴い、道徳の時間が「特別の教科 道徳」として位置付けられた。これに先立ち、冒険活動センターでは、「冒険活動教室」が児童生徒の道徳性に及ぼす影響について調査してきた。ここでは、平成29年度から令和元年度までの調査結果を報告する。

実践発表①

いじめ問題にどう向き合うか

～小学校の道徳科を通して～

さくら市立南小学校 大久保真利子

道徳の教科化のねらいの一つに、いじめ防止に向けた取組が挙げられている。いじめ防止につながる児童の内面的資質を向上させるために、どのようなことに配慮して授業を行えばよいのかを追求してきた。その実践から見えてきたことを発表する。

実践発表②

「いじめ問題」への対応に資する道徳授業

～教材の吟味を中心に～

宇都宮市立一条中学校 石川 寛

道徳が教科化された目的の一つとして、「いじめ問題への対応」が挙げられる。これまでの取組が積み上げてきたものを尊重しつつ、道徳科の現状にも目を向けながら、今求められる道徳授業を多面的、多角的に吟味した。これらの追求により得られた知見について発表する。

指導助言

宇都宮大学大学院教育学研究科 和井内良樹